



大砂土中だより

はっ らっ

澆 刺 と



さいたま市立大砂土中学校

048-684-8004

<http://osato-j.saitama-city.ed.jp>

No.2 令和4年5月6日号

自ら

校長 上続 昌司

「おはようございます」と元気のよい挨拶が正門近くから聞こえてきます。放送室からは「今日も元気に過ごしましょう」と、心地よい広報委員さんのアナウンスが聞こえてきます。朝の会の後は清掃が始まり、分担場所を一生懸命に掃除する生徒の様子を見ることができます。授業では、音楽室から校歌の練習をする1年生の歌声が響いてきます。3年生の理科の実験では、顕微鏡でニンニクの根を観察する授業が展開されています。校庭からは「1, 2, 3, 4」と、準備運動の元気の良い声が聞こえてきます。休み時間には、仲間とボールで遊ぶ姿や、追いかっこをする姿も見ることができます。

このように令和4年度は、新型コロナウイルス感染拡大防止を踏まえながら、通常に近い学校生活を始めることができます。何より、嬉しい事であり、このまま通常通りの生活が続けられることを願うばかりです。

さて、毎日校舎内の様子を見て回る中で、強く印象に残った2年生の授業の様子を紹介します。ホワイトボードの前に二人の生徒が立ち、何かを決めている姿がありました。その担当の先生に聞くと、体育祭の応援旗の作成について話し合っているとのことでした。ただ、その二人の生徒は学級委員や体育委員ではなく、自発的に応援旗について「みんなで考えたいので時間をください」と、申し出たそうです。体育祭を盛り上げるために、どのような応援旗を作れば良いのかを考え、先生に「時間をください」と言えた行動力と、「より良いものを作ろう」という高い志が素晴らしいと思います。きっと、この他にも大砂土中学校のいろんな場面で、同じように自主的な考えや行動が行われていると思います。誰かに言われてから行動するのではなく、自ら考えて行動する。大砂土中学校の学校教育目標「自ら学び 考え 行動できる生徒の育成」に込められた思いです。ぜひ、これからも自主的な活動を重ね、成長して行って欲しいと思います。自ら考えて取り組めた経験は、しっかりと自分自身の力として身に付いていきます。